

## 東京港トンネル西行き開通で渋滞長4分の1に改善

Edited By LogisticsToday On 2016/08/09

---

関東地方整備局のまとめによると、3月26日に国道357号東京港トンネル西行き（海側）が開通し、お台場と羽田空港のアクセスが向上したことで、開通直後に比べて3か月後の交通量が2倍近くに増加した。

東京港トンネル西行き（海側）の交通量は、開通直後の日量6300台から開通1か月後に1万500台、3か月後には1万1500台へと着実に増加。

湾岸エリアをつなぐ新たなネットワークが構築され、東京臨海部でのアクセスがスムーズになり、台場から羽田空港への移動時間が5割（29分→15分）短縮されたほか、国道357号東京港トンネルへ交通が転換したことにより、周辺道路の安全性・快適性が向上。交差点での交通渋滞が最大渋滞長700メートルから180メートルへと、大幅に改善した。

利用する物流事業者からは「時間が節約された」との声が寄せられているという。

---

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/249495>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.